



キリスト教センター通信 第53号 2022年4月5日

新入生のみなさまへ

チャプレン トマス 河村博之

「あなたがたわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、またわたしの名によって父に願うものは何でも与えられるようにと、わたしがあなたがたを任命したのである。」

(ヨハネによる福音書第15章16節)

新入生のみなさま、ご入学おめでとうございます。オリエンテーションが始まり、これから大学生の生活を始めるという期待と不安が入り混じっている頃だと思います。冒頭の聖書の言葉は、入学式で読まれた所です。

今から30数年前、わたしも本学に入学した第20回卒業生です。入学式の時、当時の理事長であったパウロ八代欽一主教が短い式辞の中で述べられた言葉です。「みなさんは、この大学に入学したと思っているかもしれないが、本当は神様が皆さんにふさわしいと思われて、この大学をお選びになられたのだ。」

みなさんは、どのように思われたのでしょうか。「入学試験を受けて合格し、学費を期日までに納入したのは、わたしだ！それなのに、なぜ神様が選ばれたというのか？」実は、この思いを持ったのは、このわたしです。観光学を学びたいという思いで一浪して、やっと第3希望の大学に合格したのに…。この言葉への引っ掛かり(疑問)と心が寒くなった思いをもって、前期の授業が始まったのを、つい昨日のように覚えています。

では、回答が与えられたのでしょうか。その後、チャプレンとの出会いをきっかけに、毎週昼休みの時間に行われているチャペルでの昼の礼拝に参加しているうちに、神様がふさわしいと思われて選ばれた本学での学生生活を満喫し、なぜか牧師への道が開かれていきました。そして今度は、チャペルでみなさまを、お迎えすることになりました。

この不思議さのきっかけは、チャペルでの様々な活動を通して、養われたものです。5号館チャペルで、お会いしましょう。

昼の礼拝

毎週月曜日～金曜日(授業期間中)
午後1時00分から15分間
詳しくはキリスト教センターに
お尋ねください。



ひとくちメモ

チャペルとは学校や病院などに併設される礼拝堂のことを指します。街中で見かける教会とは異なり、そこで学んだり療養したり働いたりする人のための祈りの場です。大学のチャペルは信仰を強いるものではありませんので、気軽にあなたの心の拠りどころ、居場所のひとつにしてください。



ウクライナのための祈り

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子ども
たちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教

